

わたしの

あゆみち 歩んだ道 ばあつふみ 馬場 淳史 さん



〈プロフィール〉

つがるじゃ みせんそうしや しないなさいゆう さい つがる
津軽三味線奏者。市内在住。17歳から津軽
じゃ みせん ばし ねんご つがるじゃ みせん
三味線を始め、2年後の2007年津軽三味線
いっばん ふ ゆうしやう こ かずおお
コンクール一般の部で優勝。その後も数多
しやう じゆうしやう えんぞうかつどう
くの賞を受賞。演奏活動はもちろん、教室
しどう かつやくちゆう
での指導でも活躍中。

つがるじゃ みせん
津軽三味線との出会い
こ
子どものころは、音楽は学校の授業
でやる程度で、どちらかといつと体を
動かす方が好きでした。野球やバス
ケットボールなど、いろいろなスポー
ツを何でもやる活発な子どもでした。
つがるじゃ みせん
津軽三味線を始めたきっかけは、十
七歳のときに、母に誘われてコンサー
トに行ったこと。実は嫌々ついて行っ
たのですが、迫力ある音と曲調に感動
し、自分もやってみたくと思ひ、すべ
く教室に入りました。

こども広報春日井 平成25年冬号 (12月発行)



津軽三味線の魅力

楽器はどんなものでも、演奏する人の性格によって音が変わります。特に津軽三味線は、弦を押さえる位置やばちの叩き方で音に違いが出て個性が表れます。

津軽三味線の曲は、ある程度リズムと使う音は決まっていますが、フレーズは自由なので、演奏すると一人一人オリジナルの曲ができていくところが魅力です。

毎日練習、常に勉強
二年目から大会にも出るようになり、

毎日練習を重ね、初めて入賞したときは本当にうれしかったです。

楽器はやはり練習が大切です。常に練習が欠かせませんが、それとても楽しいです。

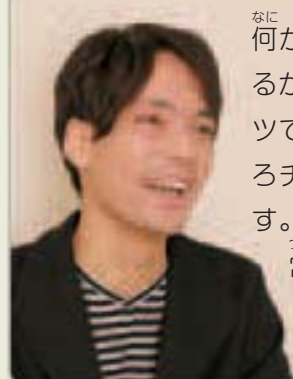
また、最近は津軽三味線がメインでステージに立つことも多いのですが、歌い手がいて、その後ろで伴奏するのが本来の形。歌い手に合わせて演奏するのは大変難しいので、CDを聴くなどして常に勉強しています。

皆さんに楽しさを伝えたい
津軽三味線を生で聴く機会はまだまだ

だ少ないと思うので、多くの人に聴いてもらえるよう演奏を中心に活動を広げていきたい。特に、小中学生の皆さんには、今のうちに一度は聴いてもらいたいですね。

また、実際に津軽三味線に触れ、楽しさや魅力を多くの人に知ってもらいたいとの思いから、最近では教室での指導にも力を入れています。教室には小学生から七十歳くらいの方まで、幅広い年齢層の皆さんが通っています。今後、一人でも多くの人に津軽三味線の魅力あふれる世界を感じてもらえるよう、活動を続けていきます。

ゆめ 夢をかなえるために



なに
何がきっかけとなって夢が見つかるかわかりません。音楽でもスポーツでもどんなことにでも、いろいろチャレンジしてほしいと思います。そして、夢が見つかったら、常に夢や目標を思い描いて努力してください。そうすれば、夢は必ずかなうと思います。

発行/春日井市 056888-1511 (代表)
編集/企画政策部広報広聴課 056888-516036
〒486-8686 愛知県春日井市鳥居松町5-44